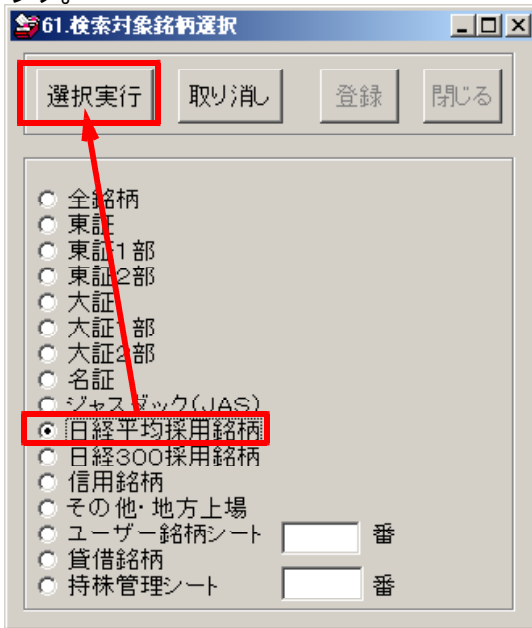


チャートを順番に見ながら、気になる銘柄のみをピックアップし、ユーザー銘柄シートへセットする方法を解説します。

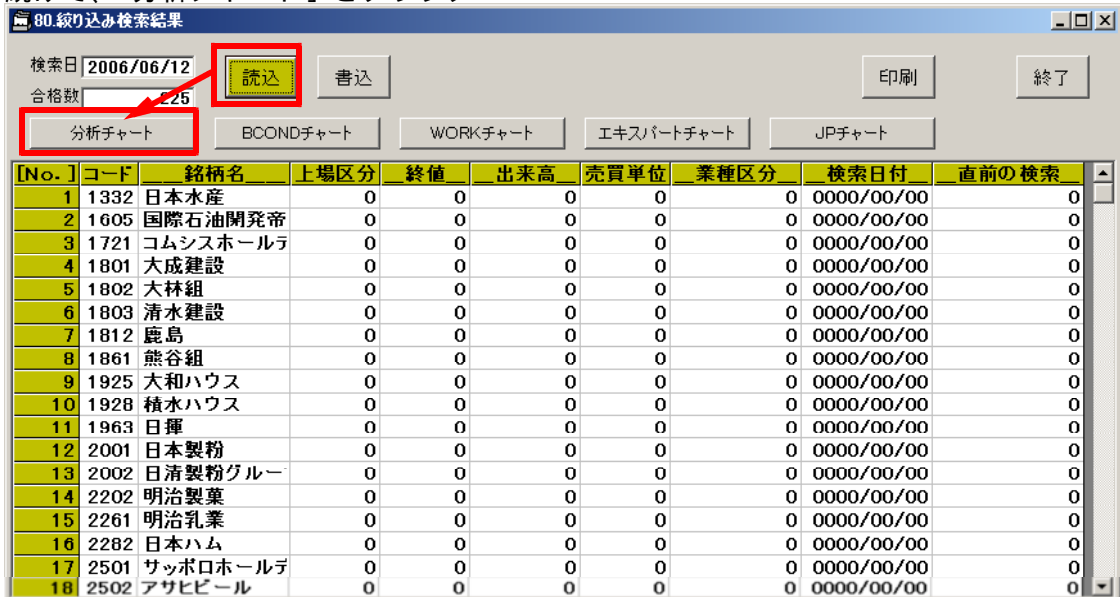
「絞り込み検索結果」からの「分析チャート」を使います。

「絞り込み検索」をクリックします。

「61. 検索対象銘柄選択」から「日経平均採用銘柄」を選択し、「選択実行」をクリック。



「80. 検索結果」から「読込」をクリック
 続けて、「分析チャート」をクリック



分析チャートが表示されます。
「分析チャート」の「機能」から「銘柄自動表示設定」をクリック

以下の画面が表示されます。

コード	表示銘柄名
Code	銘柄名
	終値
	値幅

一度に3つのシートへそれぞれ銘柄をセットできます。

待機秒数とは、

次の銘柄を表示するまでに待つ秒数を入力します。

「3」の場合は3秒経過後、次の銘柄を表示します。

「0.5」の場合は、0.5秒後に次の銘柄を表示します。

開始・・・設定した内容でスタートします。

中止・・・処理を一時中止します。表示されている銘柄でストップします。

閉じる・・・この「銘柄自動表示設定」の画面を閉じます。

ユーザー銘柄シートへの番号入力

一度に3つのシートへ銘柄をセットすることができます。

ユーザー銘柄シートに登録したい番号を入力します。

1～9999までです。

登録をクリックする事によりその銘柄シートへ表示されている銘柄がセットされます。

登録を押さないとシートへは書き込みません。

1つのシートのみ書き出す場合は、3つあるうちの一番上のみシート番号を入力し、その項目の登録をクリックします。

例．以下のようにセットしてから開始をクリックします。

設定内容

銘柄の順送りは5秒後、
気になる銘柄を1番シート、2番シート、3番シートへそれぞれ書き込みます。

Code	銘柄名	終値	値幅
------	-----	----	----

開始をクリックすると、銘柄が5秒ごとに順次変化します。
注目銘柄が表示されたらそれぞれのシートへの登録を押します。

今回は

1 8 1 2 が表示されたら、1番シートへ、登録をクリックします。
1 9 6 3 が表示されたら、2番シートへ、登録をクリックします。
2 0 0 2 が表示されたら、3番シートへ、登録をクリックします。
それぞれ書き出します。

以下のように表示されます。

銘柄自動表示設定

[80.絞り込み検索結果]の銘柄を順次表示、ユーザー銘柄シートへ登録出来ます

待機秒数

ユーザー銘柄シート 1

ユーザー銘柄シート 2

ユーザー銘柄シート 3

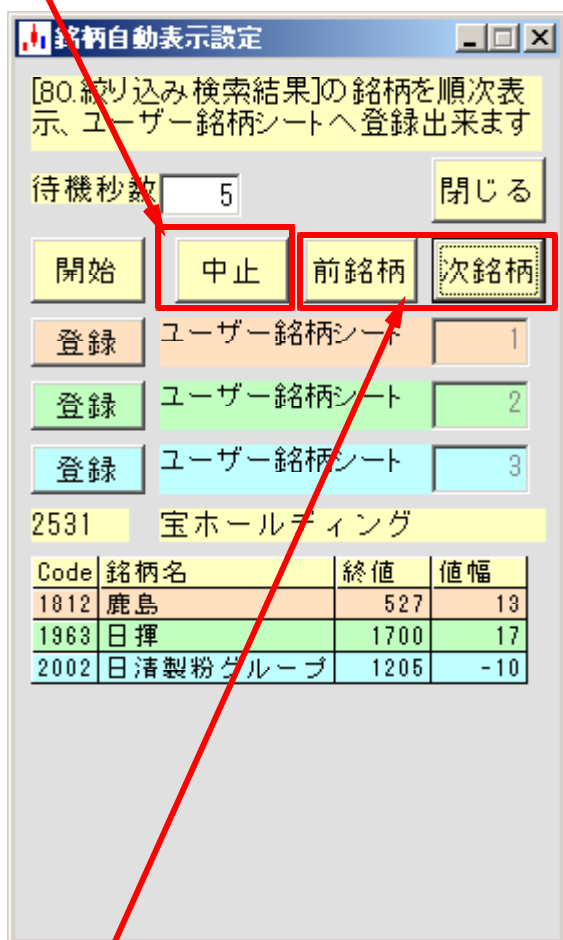
2202 明治製菓

Code	銘柄名	終値	値幅
1812	鹿島	527	13
1963	日揮	1700	17
2002	日清製粉グループ	1205	-10

登録をクリックすることによりシートに書き込まれます。

1つ1つ銘柄をじっくり確認しながら、ユーザー銘柄へセットする方法
(手動で銘柄が順次変化します。)

中止をクリックします。銘柄が止まります。



「前銘柄」または、「次銘柄」をクリックし、注目した銘柄が表示されたら、「登録」をクリックします。

2531が表示された時に、三番目の登録をクリックしました。
ユーザー銘柄シートの3番にセットされます。

銘柄自動表示設定

[80.絞り込み検索結果]の銘柄を順次表示、ユーザー銘柄シートへ登録出来ます

待機秒数 閉じる

開始 中止 前銘柄 次銘柄

登録 ユーザー銘柄シート 1

登録 ユーザー銘柄シート 2

2531 ユーザー銘柄シート 3

2531 宝ホールディング

Code	銘柄名	終値	値幅
1812	鹿島	527	13
1963	日揮	1700	17
2002	日清製粉グループ	1205	-10
2531	宝ホールディング	641	0

ユーザー銘柄管理から確認してみます。
「閉じる」をクリックしてください。

ユーザー銘柄管理を表示させ、それぞれ1番、2番、3番を表示させてみます。

1番シート

ユーザー銘柄管理

銘柄シート番号 (1~9999まで入力可) 分析チャート 0000/0000

コメント「絞り込み検索結果→分析チャート」をさらに抽出した結果① 2006-06-12

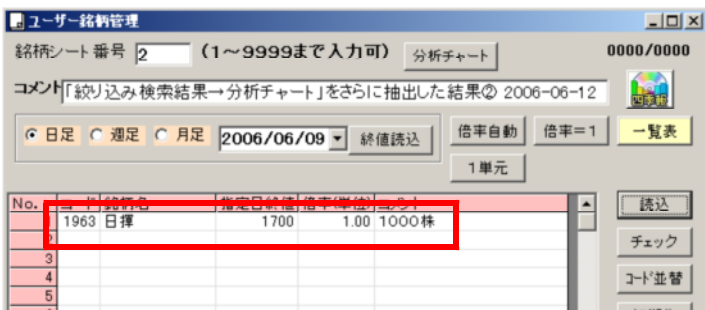
日足 週足 月足 2006/06/09 終値読込 倍率自動 倍率=1 一覧表

1単元

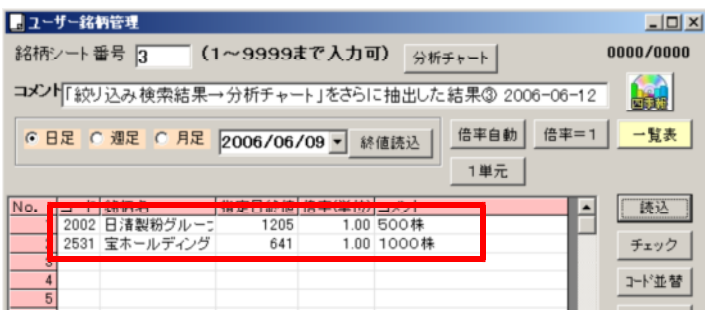
No.	銘柄名	指定日終値	倍率	銘柄
1	1812 鹿島	527	1.00	1000株
2				
3				
4				
5				

読込 チェック コード並替

2番シート



3番シート



それぞれのシートに銘柄が確認できました。

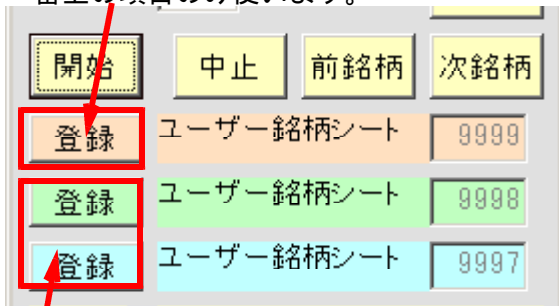
活用

絞り込み検索から色々検索をし、ある程度の銘柄数になったら使ってみましょう。例えば、買いの条件で絞り込んだら、更に今回の機能を使いチャートを表示させ、目で確認しながら、注目銘柄を分けます。

要買い候補は1番シート、やや買い候補は2番シート、次点は3番シートなどといった具合です。

3つのシートを全て設定しなくてもかまいません。1つのシートのみでもOKです。この場合の登録は、一番上の項目のみを使い、2番目、3番目は使いません。登録を押してはいけません。

一番上の項目のみ使います。



下2つは使いません。登録を押してはいけません。